

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2013年10月24日～30日)

平成 25 年(2013 年)10 月 31 日

H E A D L I N E S

政治

マゾヴィエツキ元首相が逝去
 与党「市民プラットフォーム」(PO), 党地方代表選挙を巡って混乱
 ピエホチンスキ副首相兼経済相が日本を訪問
 トウスク首相, 米国機関による通信監視に関して発言
 クラクフにて日米欧三極委員会の欧州グループ会合が開催
 ワルシャワにてポーランド・スペイン外相会談を実施

経済

多額のEU基金を受領
 外国に移住するポーランド人は引き続き増加
 直接投資が大幅に減少
 研究開発投資が2012年に22.8%増加
 ポーランドの人口構成が大きく変わる見込み
 ポーランドの家禽肉生産が増加する見通し
 東芝社がポーランドのテレビ製造工場を売却予定
 コンパニア・ヴェングロヴァ社のリストラ計画が11月に提示予定
 エネルガ社のIPOが12月上旬に行われる見通し

大使館からのお知らせ

COP19の開催に伴うポーランド来訪者へのご注意
 トルンにおける領事出張サービスについて
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

読者からの情報提供

秋の留学生演奏会のご案内

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先: 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

在ポーランド日本国大使館
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000
http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

政	治
内	政

マゾヴィエツキ元首相が逝去【28日】

28日、タデウシュ・マゾヴィエツキ元首相が逝去した(享年86歳)。同元首相は「連帯」による民主化運動の指導者の1人であり、東欧で戦後初となる非共産主義政権の初代首相を務めた人物であった。同元首相の葬儀は11月3日にワルシャワにて国葬の形で行われる予定であり、同日は国としての服喪期間となる。

与党「市民プラットフォーム」(PO)、党地方代表選**拳を巡って混乱【30日】**

POは、26日に実施されスヘティナ元下院議長が敗れたドルノシロンスク県の党地方代表選挙にて、同党の下院議員がドルノシロンスク県の党員に対して国営企業のポストを引き替えにスヘティナ元下院議長の対立候補への投票を求めた録音記録がメディアで報じられたことを受けて、30日に国家幹部会を招集して本件につき議論した。同幹部会は、ドルノシロンスク県の党地方代表選挙のやり直しは行わず、関係者を処分することを決定した。

外	交
---	---

ピエホチンスキ副首相兼経済相が日本を訪問【24～27日】

24～27日、ピエホチンスキ副首相兼経済相は日本を訪問し、安倍総理表敬、総理公邸で開催された「ポーランド・アイルランドのタベ」への参加、茂木経済産業大臣との会談、日本企業関係者との意見交換等を行った。25日の安倍総理表敬においては、経済関係をはじめとする二国間関係、「V4+日本」対話・協力等につき意見交換が行われた。

トウスク首相、米国機関による通信監視に関して発言【25日】

25日、トウスク首相は、米国機関がメルケル独首相等の携帯電話の通信を監視していたとされる問題につき、我々は米国側に同様の行為がポーランドに対しても行われていたか否かを照会し、もしそのような事実があるならば、右行為が二度と行われぬとの約束を断固として要求する旨発言した。

クラクフにて日米欧三極委員会の欧州グループ会合が開催【25～26日】

25～26日、日米欧三極委員会の欧州グループ会合がクラクフにて開催され、25日の開会セレモニーにコモロフスキ大統領が出席した。コモロフスキ大統領は、同セレモニーの演説にて、ポーランドのEU東方パートナーシップに対する貢献に言及し、11月の東方パートナーシップ首脳会合におけるウクライナとの連合協定の署名の重要性等を強調した。

ワルシャワにてポーランド・スペイン外相会談を実施【28日】

28日、シコルスキ外相は、ワルシャワを訪問したガルシア＝マルガージョ・スペイン外務・協力相と外相会談を行い、二国間経済関係、EU及びユーロ圏の将来及び11月にヴィリニウスで開催予定の東方パートナーシップ首脳会合に関して意見交換を行った。

経	済
---	---

経済・財政政策

多額のEU基金を受領【24日】

9月にポーランドは1億9,890万ユーロのEU結末基金を受領し、これで2012年1月からの受領額は計118億4千ユーロとなった。なお、ポーランドは、

同月に3億4,260万のEU予算を拠出し、年始からの拠出総額は37億6千万ユーロとなっている。

マクロ経済動向・統計

外国に移住するポーランド人は引き続き増加【27日】

2012年は10万人のポーランド人が外国に移住し、これにより外国に住むポーランド人は160万人

に達した。現在のポーランドにおける人口は外国滞在が12カ月未満の人々を含めて3,710万人となっており、今後5年間で50万～80万人のポーランド人が外国に移住するとの予想も出ており、国内

人口の減少はポーランドのEUにおける地位を弱めるおそれがある。

直接投資が大幅に減少【28日】

2012年のポーランドへの直接投資のフローは2011年より102億ユーロ、割合にして68%減少した47億ユーロとなった。また、ポーランドの海外への直接投資のフローも90%減少した5億5,700万ユーロとなっている。ポーランドへの投資は、特別目的事業体により資金調達された46億ズロチを還元しても30%減となる93億ズロチとなっており、国別に見ると、ドイツからの投資が34億ユーロ、フランスからの投資が31億ユーロと大部分を占めるが、ルクセンブルクからの投資はマイナス32億ユーロ、オランダからの投資はマイナス17億ユーロとなっている。業種別に見ると、金融保険業が38億ユーロ、加工産業が27億ユーロ、研究・技術サービスはマイナス34億ユーロとなっている。他方、ポーランドによる海外への直接投資の利益自体は過去最高となる15億ユーロを記録してい

る。

研究開発投資が2012年に22.8%増加【28日】

中央統計局(GUS)のデータによれば、2012年のポーランドの研究開発投資は前年比22.8%拡大し、143.5億ズロチとなった。これは、2012年のポーランドのGDPの0.9%に相当し、前年の水準から0.14ポイント増加した。政府による投資が51.4%のシェアを占めた。企業部門の投資は32.3%で、前年の水準から4.2ポイント上昇した。

ポーランドの人口構成が大きく変わる見込み【29日】

2060年にはポーランドにおける年金受給者の就労者に対する比率が現在の1:5から1:2かそれ以上に大きくなるとの予測が発表された。就労可能年齢人口も現在の71%から53%へと変化する見込み。外国への若者の流出が大きな要因の一つとなっており、逆にポーランドが移民受入政策を緩和することにより現在の就労人口水準を維持できるとの見方もある。

ポーランド産業動向

ポーランドの家禽肉生産が増加する見通し【29日】

農業及び食料経済研究所(IERiGZ)がまとめた報告書によれば、今年のポーランドの家禽肉生産は前年比6.5%増の168.5万トンに達し、2014年も最大7.5%拡大する見通し。家禽肉の輸入は前年比7%下落、輸出は2013年に10%拡大する。また、消費は2013年に前年比3.4%増となる見通し。

東芝社がポーランドのテレビ製造工場を売却予定【28日】

東芝社は、映像事業の構造改革の一環として、欧州市場向けの液晶テレビ生産拠点である東芝テレビ中欧社を台湾のコンパル社に売却することを決定した。独占禁止法に基づく手続き等を経て、来年3月までに売却を完了する。なお、東芝社は、引き続き生産委託契約に基づき欧州市場向けテレビを同工場から供給する予定。

エネルギー・環境

コンパニア・ヴェングロヴァ社のリストラ計画が11月に提示予定【29日】

ポーランド最大の炭坑会社「コンパニア・ヴェングロヴァ(KW)」社のウシュコ副CEOは、リストラ計画を11月19日に提示する予定と述べた。また、以前提示された炭坑数の15から8への削減や、管理部門の職員の削減といったアイデアは、分析のための単なるオプションだったと述べている。ウシュコ副CEOは今後2年間で極めて重要であると述べており、同社は投資額を過去2年間の実績の12億ズロチから、今後8~10億ズロチに削減することを予定している。

エネルガ社のIPOが12月上旬に行われる見通し【29日】

金融監督庁(KNF)は、エネルガ社の有価証券報告書を11月13日に承認する見込みで、その後順調に進めば12月上旬に新規株式公開が行われる予定。国有財産省は現在同社株式の85%を所有しているが、そのうち35%を売却する。エネルガ社のIPOには同業他社も高い関心を示しており、多数の引き合いがあると見込まれている。個人投資家への売却も考慮に入れられている。

大使館からのお知らせ

COP19の開催に伴うポーランド来訪者へのご注意

本年11月11日から22日までの間、ポーランドのワルシャワ市において第19回気候変動枠組条約締約国会議(COP19)が開催される予定です。同開催に伴うポーランドへの来訪者への出入国上のご注意を当館HPに掲載しております。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

トルンにおける領事出張サービスについて

大使館は、11月30日(土)10時から13時までの間、Hotel Mercure Helios(ul. Kraszewskiego 1/3, Torun)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは下記当館HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成26年3月31日(月)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事

【開催中】 鐔・日本装飾技術の傑作展【10月12日(土)～2014年3月9日(日)】

トルン市にて、ポーランドのコレクションから日本鐔の展示会が開催されています。

問合せ先:トルン地域博物館 (Muzeum Okregowe w Toruniu)

ホームページ: <http://www.muzeum.torun.pl/portal.php>

開催場所:トルン市, Kamienica pod Gwiazda, Rynek Staromiejski 35

【開催中】 「書道による日本の詩の表現」展示会【10月16日(水)～11月4日(月)】

トルン市にて、トルン地域博物館・ポーランド日本交流センター・国際書道文化発展協議会による「書道による日本の詩の表現」展示会が開催されます。

開催場所:トルン地域博物館, Rynek Staromiejski 1

問合せ・申込み先: 電話 56 660 56 12 Eメール: muzeum@muzeum.torun.pl

詳細: <http://www.muzeum.torun.pl/portal.php?aid=news&news=1380886011524ea5fbb0572>

【予定】オルシテイン日本デー【11月9日(土)～10日(日)】

オルシテイン市にて、文化館で「日本デー」が開催されます。着付け・折り紙・紙芝居・剣道・書道・茶道など、様々な行事を行ないます。

開催場所: Sala Kameralna Pod Amfiteatrem(ul. Zamkowa)

問合せ: 電話 89 522 13 72

詳細:

<http://naszolstyniak.pl/108660,Origami-kimono-i-herbata-Dni-Kultury-Japonii-w-Olsztynie.html#axzz2icxLayJ>

【予定】「ポーランド・日本。友好の100年」書道展示【11月12日(火)～12月1日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館にて高橋里江氏による書道展が開催されます。書道ワークショップも予定されています。

開催場所:日本美術技術博物館

問合せ: 電話 12-267-37-53

詳細: <http://manggha.pl/>

秋の留学生演奏会のご案内

トルン市にて、ポーランド日本人会主催の留学生演奏会が開催されます。トルンは地動説で有名なコペルニクス生誕の地です。そのコペルニクスにちなんで、今回の演奏会のテーマは、「秋の星空」となっております。日本人留学生のほか、ポーランド人学生も参加予定です。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

日時: 2013年11月16日(土) 14時開演(13時50分開場)

場所: Centrum Kultury Dwor Artusa (Rynek Staromiejski 6, 87-100, Torun)

問合せ先: ポーランド日本人会事務局 (biuro@nihonjinkai.pl)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp)

(ご連絡は電子メールでお願いします。)